

講義科目 : 経営財務論	単位数 : 2
担 当 : 上木 敏正	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

(1) 講義の内容・方法

経営財務の基礎的内容を中心とした座学講義。

(2) 到達目標

- ・経営財務の知識を習得し、意義を理解する。
- ・経営財務の諸理論を学ぶことにより、論理的思考を身に付ける。
- ・経営財務におけるさまざまな「評価」の意味と仕組みの概要を理解する。

授業計画

講義の具体的な方針等は第1回講義時に説明します。

第1回	第0章 講義内容ガイダンス	第1章 経営財務の基礎(前編)
2回	第1章 経営財務の基礎(中編)	
3回	第1章 経営財務の基礎(後編)	
4回	第2章 投資決定(前編)	
5回	第2章 投資決定(中編)	
6回	第2章 投資決定(後編)	
7回	第3章 長期資本調達	
8回	第4章 資本コスト・資本構成の理論(前編)	
9回	第4章 資本コスト・資本構成の理論(後編)	
10回	第5章 配当政策	
11回	第6章 企業評価	
12回	第7章 ポートフォリオ理論	
13回	第8章 資本資産評価モデル	
14回	第9章 デリバティブ	
15回	第10章 その他トピックス	

教材・テキスト・参考文献等

講義ノートと配付資料による講義を行います。テキストは指定しません。当面の参考図書は以下のものです：細井卓『財務管理論』中央経済社、1981年。諸井勝之助『経営財務講義〔第二版〕』東京大学出版会、1989年。市村昭三編著『財務管理論』創成社、1995年。

成績評価方法

定期試験(100点満点)で評価します。なお、必要に応じて平常点を評価に加減します。

その他

経営財務論は、企業における資本の調達と運用を検討対象とし、財務意思決定者の意思決定をサポートすることを目的としています。講義が進むうちに理解できると思いますが、検討領域は資本市場を含む包括的なものになります。企業経営に必要なこの分野を学習することにより、企業の経営活動を資本の流れや評価を通じて見る目を養って下さい。